



院長
伊藤 真理子
プロフィール

●(いとう・まりこ) 1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

真理子先生の
女性のカタ

子宮を守りましょう

女性にとつて子宮はとても大切なもの。妊娠や出産の働きをつかさどるのはもちろん、子宮頸がんを命を落とす方も大勢いらつしやいます。大切な子宮は守りましょう。

大切なのは検査

そのためにも大切なのは検査です。子宮頸がんはヒトパピローマウイルス(HPV)に感染することが原因ですが、山形市の場合、20歳以上の方で今年偶数年齢になる方なら、子宮頸がん検査とHPV検査の際に費用補助が受けられます。HPV検査の結果が陰性で、自覚症状もなければ

ば次の検査は2年後で大丈夫です。昨年が偶数年齢で受けそびれた奇数年齢の方も、必要な手続きをすれば6月から受けられます。

必要のないケースも

ただ、費用補助が受けられるからといって、性交渉経験のない女性までが検診を受ける必要はありません。過去に性交渉経験がなければHPVへの感染や子宮頸がんにかかっていることは考えにくいです。

必要のない検査で不用意に身体を傷つけてしまう恐れもあり、そんな方が来院された場合は十分

にご説明したうえで取りいただいています。

妊娠初期でも検査を

妊娠初期に母子手帳の交付を受けると、そこにも子宮頸がん検査の無料券が付いています。



子宮頸がん検査無料券

妊娠した子宮は柔らかく、検査で出血しやすいくのですが、基本的には妊娠直前に検査された方を除いて検査の対象になります。妊娠して初めて婦

人科にかかる方も多く、時に異常な結果が出る場合もあります。

自治体で異なる制度

検査に対する補助制度の内容は自治体により異なります。お住まいの自治体に確認し、検診を欠かさずに受けましょう。

〈産婦人科〉

真理子レディースクリニック

☎023-632-0666 山形市小姓町 6-35

●診療時間

【平日】午前/8時30分~12時
午後/14時~17時

【木曜】午前/8時30分~11時

【土曜】午前/8時~11時

●休診日

日・祝祭日

木・土曜日午後休診となります。

